

JIA長野県クラブ34

社団法人 日本建築家協会

1999. 1. 1



左上：技術交流会（12月10日、長野市内）
右上：本音で語ろう会（12月10日、長野市内）
左下：第2回あすなろ見学会
(藤森先生のお父さんを囲んで)



あらたなる世紀を目前にして

会長出澤潔

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は会員の皆様、行政当局、関係諸団体、JIA本部支部の皆々様には大きなお力を賜り、心から感謝申し上げます。本年も変わぬご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

数年来、経済が混迷していますが昨年は一層混迷の度が深りました。加えて日本の行き先が私達にはよく見えず、人の心もまた不安定な状況にありました。西暦2000年を前にした本年はこの状況がどう変わっていくのでしょうか。社会システムの急激な好転は望むべくもないことではありますが、一日も早く明るい未来が見通せるようになって欲しいと思います。私達の職域を取り巻く環境もまた暗い状況にあり、会員・賛助会員の皆様にあっては、それぞれのお立場で日夜大変なご努力を傾けておられることとお察し申し上げます。

日本建築家協会においては各地に組織された地域会の着実な活動が明瞭になって参りました。平行して会全体の組織の見直しが具体的なかたちで検討され始め、会の発展に対する執行部の期待を強く感じることができました。また、会設立時からの目標である建築家資格制度に

ついては、長年にわたるさまざまなかたちでの努力によって昨年度は具体的な議論がそこかしこで高まり、本年度は大きな進展が望まれるところであります。

JIA長野県クラブは、クラブ内部の更なる充実を図るとともに地域社会への情報発信を積極的に行うことを基本として各委員会の事業を計画いたしました。担当委員会そして賛助会員の皆様を含めた会員皆様のおかげをもちまして事業は着実に進展しておりますが、更により一層積極的な参加をお願いしたいところであります。

私は昨年広島で開催されましたJIA大会に参加して、私達に今まさに求められていることは「私達が社会に対してどう責任を持つことができるのかを明確にすること」であることを教えられました。会員皆様がJIA会員としてのそれぞれのお立場で、会員としての責任、地域社会の一員としての責任、建築家としての責任、人としての責任を果たすことによって私達の目標とする建築家像の確立が実現されるものと思います。

20世紀最後の年を意義あるものとするため、会員皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



本音で語ろう会で思うこと

小宮山 直樹

小宮山建築計画事務所

今回の「本音で語ろう会」は分科会ごとに分かれないと行なわれた。参加して感じたことは「本音」の部分が少しかすれてしまったような気がしたことだ。では、本音とは何か？これは私だけかもしれないが、一人の人間の中にある本音はひとつではないと思っている。ひとつの事項に対する本音は確かにひとつだが、あらゆるもの複合して物を考えた時、それはある物体をあらゆる角度から見ると形を変えるように、本音という心も同じような現象を起こすのではないだろうか。「本音はきれいごとではない」という人もいる。人が多ければ多い程かずれていくのは無理もないことなのかもしれない。

そんな中で、討論は「コスト破壊」と「対社会性」に重点が置かれた。今の状況は確かにひどい。コスト破壊・価格破壊により得するのは誰か？一見建築主とも思えるが、それにもうなづけない。なぜなら「品質はどうなっているのか」という疑問が残るからだ。予算が合わず、VE案、設計変更で調整する例は少なくない。その場合、果たして建築主は得なのか？損得でなく予算内で形になればよいという建築主もいると思うが、それも仕方のないことなのか？それでは、品質、建物の仕様は誰が決めるのか？建築主かそれとも設計者か？建築に関して素人の建築主が決められる理由もない。最終的には打合わせをして、建築主に承認を得るのだが、数え切れない材料・工法を選定するのはやはりプロである私達の仕事なのだ。

同等品と書くのをやめて欲しいという意見も出たが全て指定したらどうなるのか。確かに良い物はできるかもしないが、多くの弊害が出ることだろう。ひとつにゼネコンは息をするところがなくなり、かえって建設費は高くなる。その結果、建築主の金銭的な負担が多くなる。建築物もそうだが、設計もまたバランスが大切なのではないだろうか。世の中の状況がどうあれ、プロとしての自覚と誠実な心さえあれば、必ず光が見えてくると信じている。これも本音だが、一方で、一家庭の主として家を守るために何をすべきか、プロとしての自覚と誠実な心だけで食べていけるのかと自分に問いかけることもある。

もうひとつのテーマ「対社会性はどうあるべきか」についての私の本音は、まちづくりとかボランティアとか、そんな大それたことではなく、一人の人間として例えば町を歩いていて捨てられてある空缶拾う、そんな何の見返りもない行為こそが対社会性につながる大切な第一歩だと思う。

-----正会員の皆様へお知らせ-----

建築家資格制度勉強会

講師／椎名政夫氏
(資格制度推進委員長)

日時：1月28日(木) 15:30～17:30

会場：山王共済会館（長野市岡田町）



あすなろ見学会について

西沢 利一

(株)西沢建築研究所

会員委員会では、去る11月21日、諏訪・岡谷方面で見学会を企画し、18名程が集まった。会員の作品も見ようということになり、まず片倉さんの自信作「矢島邸」を見学させてもらった。

線路の脇に建つこの家は、^{ある}旧い民家に増築されていた。線路側にはコンクリートの壁を立てて遮音に気付かっていた。内部は^{ある}旧い庭を取り込むように居心地のいい空間である。特にリビングを中心^{ある}にダイニング、キッチンの流れが良く、古い井戸を残した光庭を廻る配置は絶妙だ。片倉さんの執念ともいえる家具類の工夫は見学者の感心を誘った。

施主の矢島さんの暖かで満足した言葉は建築家冥利につきる。自分も今後の仕事の励みになって、気持ちいい時間を過ごせた。皆さんも機会があったら是非見て頂きたい。きっと触発されるに違いない。

次は藤森照信さんの出世作「神長官守矢史料館」だ。藤森さんの言葉を借りると、今はやりの“つるつるびかぴか”でなく、縄文的な郷愁がある。隈研吾さんは「見たことがないのに懐かしい」という表現をした。最近の作「秋野不矩美術館」は少しわざとらしさが匂うが、この作品は純粋でいい。藤森さんのお父さんが案内係を務めてくれた。大変おもしろいオヤジで終始みんなを笑わせていた。「バカ息子バカ息子」と言いながら息子に対する愛情に溢れていた。矢島邸も神長官も共通して言えることは、廻りの風景に対して謙虚だということだ。民家の集落に対して民家らしさという言語でつくっていないのもいい。建築は傲慢であってはいけない。人柄が建物にも出るということだと思う。

最後に柳澤孝彦さんの「ひかり味噌本社屋」を見学した。斜めにねじったプランは、中に入るとほとんど感じられない。仕事のできもさることながら、横沢英一さんの彫刻が効いている。階段上の屋上庭園もさすがと思われる。この建物の成功はプランにつきる。ただ一つ気になったのは曖昧に欠けることだ。槇さんや原さん、あるいは伊東さんといった人達と同じ肌合いがする。もしかしたらこの辺が、ピーター・ズントーやスペール・フェーンがこの頃好まれる理由かもしれない。安藤忠雄の建築が風景を選ばないことと同じで、どこへ行っても同じ手法で押し進めていく。その場所の風土、風景から生まれる建築であって欲しい。地の建築家はもっと頑張らなくてはと改めて思った。何しろあすなろの気持ちだから。

「継続は力なり」という言葉もあります。次回も感性のよい作品の見学会を企画しますので多くの参加（会員以外もOK）を待っています。

頌春

自然との調和、循環型社会の建設



株式会社 五十鈴

代表取締役社長 下平洋一

〒399-4431 長野県伊那市西春近5836-1 ☎0265-78-4331

支店：長野、松本、駒ヶ根



構造設計者の日頃の感想

篠 田 諭
株式会社本忠長建築設計事務所

構造の設計監理をしていて思うことがいくつかある。30人ほどのアトリエ事務所の中で仕事をしていると、基本設計の最初の段階から打ち合わせに参加し、空間の計画と共に、概算工事費を算出することから仕事が始まる。

用途・規模・空間のイメージ等によって、RC造・S造・W造・PSPC造等、構造の種別・方式は多岐にわたり、建設地によって地盤の条件は千差万別である。

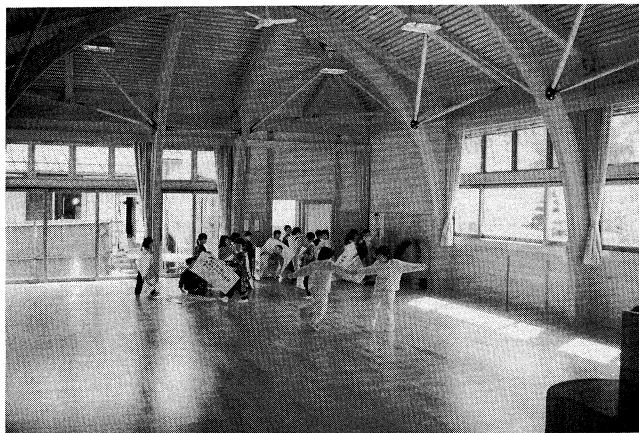
このように構造設計といつても幅が広く、建築基準法が改正され、設計基準の改定も頻繁に行われる。また、建築工事共通仕様書の改定も5年毎にある。特に、兵庫県南部地震以後はこの傾向が大きく、日常の設計監理業務に埋没していると、追いついていくのも大変である。

設計を始めてからの泥縄的な対応を続けていると、知識の幅は広くなるが、系統的に掘り下げる理解度はなかなか深まらない。

設計する建物の規模等により、受注するであろう建設会社や専門業者の品質管理能力も考慮に入れなければならない（設計者の能力は棚に上げて）。この品質管理能力は会社の規模の大小にはあまり関係ないが、設計者の希望通りになるとは限らない。

構造設計の監理は構造設計者が行うのが望ましい。机上では見落とされていたことや、施工に際して改善したほうが良いことは、設計した者でなければ気がつかないこともある。設計内容を最終的にチェックできる監理を大事にしたい。

集成材やパネル構造等の木質構造に関わっていると、2階建の木造住宅と、構造計算が要求される3階建の住宅の性能（耐力や耐久力）には、大きな差があることを痛感する。



構造設計を担当した建物で、集成材を使用した保育園です。学校と違い空間が狭いので集成材の断面をできるだけ小さくしたつもりです。

室内装飾施工専門 ISO9002認証取得

 株式会社 岩野商会

本社 長野市大字北長池2051 ☎ 026(263)7000
県内支店・営業所／松本・佐久・上田・南信



設計者との絆を大切に

鈴 木 隆
ルームデザインハウス

あけましておめでとうございます。10周年を迎える年には皆様の仲間に入れていただき本当によかったです。先輩諸氏に感謝申し上げますと同時にJIA会員の活気を肌で感じさせていただいております。新建新聞の建築確認の欄で、特にJIA会員事務所の確認が目立つように見受けられます。昨今の経済状況の折、諸先生方の設計が「本音で語ろう会」「技術交流会」等の積極的な活動の賜物であろうと敬意を評するところです。坂田賛助会長の言っておられた「車の両輪」であるべく建築家と賛助会員相互における努力を惜しません。建築家の皆様、一度声をかけて下さい。住宅の受注状況も減り、私共特注家具製造も底辺しております。期待に応えられる製品を提供できるように努力して参ります。学生卒業設計コンクールにおかれましても、外から内へときめ細かく絞り込んでいただければと期待しています。

本年もJIAの活動にできる限り参加し、いい仲間になっていければと思います。



最近思ったこと

萱 場 健 治
(株)タジマ長野営業所

私は床材関係の仕事をしていますが、設計者から最近問い合わせが多いテーマをご存じでしょうか？それは視覚障害者用の誘導点字タイルのレイアウトです。ハートビル法など行政側の指導も整備され、一時の混乱はなくなりましたが、凝った設計になると「これでいい？」とのご相談。せっかくの床への想い入れも無骨なタイルが切りきざんてしまうのですから、お悩みの程もわかります。

ところで先日、新幹線の某駅で待ち合せをしていた時のことです。商売柄、目は床面を追い、美しく貼られたタイルにまず感心。勿論、点字タイルもスッキリと延びています。誘導されるように外のデッキまで歩いて行ったのですが、そこで足が止まりました。何と柱のところで点字タイルが迂回しているのです。柱をズラしても素人目には何の障害もないように映るのですが、どうしてなのでしょう。私たちのまわりにはこんな例が意外と多いようです。専用の通路を設けるなど、別の対策が必要なのかもしれません。障害者へ配慮した建物が増えることを願う次第です。

水と空気と環境の明日を考える



株式会社 荘原製作所
長野営業所

〒380-0905 長野市鶴賀335-1 TEL 026-223-5390

謹賀新年 平成11年元旦

JIS A9511 XPS (押出発泡ポリスチレン断熱材)

カネカライトフォーム
KANEKA

鍛治化学工業株式会社
東京本社 建材営業部 03-5574-8070
大阪本社 建材営業部 06-226-5301

頌春



迎春

伊藤 宗春

相談役

不~~易~~流行
宮本忠長

相談役

南島宗市

(株)桂建築設計事務所

相談役



城取義直
本年もよろしくお願ひします



愛する故郷のために
愛する人々のために
出澤潔

会長

みはる・いはる
町をくわんばく
今まもがんば
ー

松下重雄

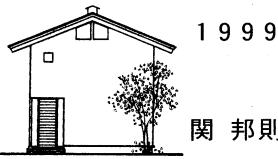
副会長・会員委員長

謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します

(株)カミムラ建築研究室
上村保弘

副会長・事業委員長



1999

関邦則

副会長・総務委員長・広報委員長

高橋重徳

(株)ローカル建築設計室

副会長・交流委員長・会員委員

建築に限らず、プレハブ・
大量生産について皆で
考えてみましょう。

久保田三代

会計幹事・会員副委員長

本年も宜しく
お願い申し上げます

(株)アーキ・クリエイション
須田考雄

幹事・総務副委員長・交流委員

佐藤友治

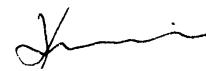
計画工房都市建築設計事務所

幹事・交流副委員長

新井典夫

(有)A & A構造研究所

幹事・交流副委員長


倉橋英太郎

幹事・会員副委員長・事業委員



かわち建築設計室
加藤 雄一

幹事・まちづくり特別委員長

依田政司

(株)依田建築設計事務所

幹事・総務副委員長・会員委員・まちづくり特別委員



<http://www.dcn.ne.jp/~archhall>

幹事・会員委員・事業副委員長

久保隆夫

(株)宮本忠長建築設計事務所

幹事・会員副委員長

本年もよろしくお願ひします

(株)シティープラン
土屋長命

幹事・広報副委員長

沖村陽一

(株)環境計画

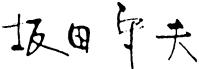
幹事・総務委員・事業副委員長

昨日は「OM地域建築賞」を戴きました。独立3年目の自分としては出来過ぎの仕事が続いている。おごらす謙虚にそして大胆に今年も建築に取り組んで行きます。

新井建築工房+設計同人NEXT
あらいまさる

幹事・会員副委員長

代表取締役


坂田英太

坂田工業株式会社

幹事・賛助会長・交流副委員長・広報委員

Human & Technology

(株)東芝、(株)荏原製作所 代理店

中信電機株式会社

小野澤秀世

幹事・賛助副会長・交流委員・広報副委員長

櫻井武久

(株)櫻井武久建築設計研究所

監査・交流委員


株式会社 桂 藤

渡辺一成

監査・交流委員

謹賀新年

飯島和夫

(株)飯島建築設計事務所

総務委員

小松蒼一

小松一級建築士事務所

総務委員

株式会社 フジ設計

場々洋介

総務委員・まちづくり特別副委員長

三浦憲

(株)三浦設計事務所

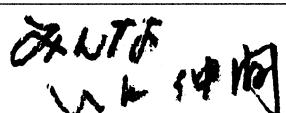
総務委員

'99迎春

(株)桂建築設計事務所

市瀬清志

交流委員

<p>謹賀新年 宜しく御願い致します。 (株)伊藤建築設計事務所 北澤 隆重 交流委員</p>	<p>「うさぎとカメ」 敏感にすばやく、時にはじっくり確実に暮らしたい 久保田 正博 交流委員</p>	<p>篠田 論 (株)宮本忠長建築設計事務所 交流委員</p>	 中澤 栄二 AEIC 株式会社 エイシーシー 一級建築士事務所 交流委員・まちづくり特別委員
<p>(^o^) /~ 西沢 潔 (有)西沢構造設計事務所 交流委員</p>	<p>西澤嘉雄 (株)宮本忠長建築設計事務所 交流委員</p>	<p>根石忠生 (株)鈴木建築設計事務所 交流委員</p>	<p>羽生田八郎 羽生田建築設計事務所 交流委員</p>
<p>迎春 原 逸穂 株式会社カミムラ建築研究室 交流委員</p>	<p>増田祐一 (株)アルス設計 交流委員</p>	<p>新たな出発 MEデザイン室 溝端利一 交流委員</p>	<p>三村哲夫 英建築設計事務所 交流委員</p>
<p>宮下治 (有)アイ設計 交流委員</p>	<p>宮本仁夫 (株)宮本忠長建築設計事務所 交流委員</p>	<p>山岸信蔵 (株)橋建築長野事務所 交流委員</p>	<p>湯本弘行 (株)誠設計事務所 交流委員</p>
<p>MOTO-Q 株式会社 本久 建築部 営業課 赤塙政広 本社:〒381 長野市北高野通1-6-6 TEL (026)241-1155 FAX (026)259-1175 交流委員</p>	<p>謹賀新年 株式会社 日創建材 代表取締役有賀敏夫 交流委員</p>	<p>池内信二 (株)タキザワ・ホームイング 交流委員</p>	<p>謹賀新年 (株)山二 大井芳也 交流委員</p>
<p>「文化講演会のご案内が 近々届きます。皆様のご 参加お待ちしています。」 株式会社タジマ 萱場健治 交流委員・事業委員</p>	<p>素材の表情を大切にします YAMAKI ヤマキ工業(株) 諏訪部 晴夫 交流委員</p>	<p>地球環境に優しいインテリア素材の 提供に努力します。 本年もよろしくお願いします。 越前屋 株式会社 越前屋 取締役常務 清水 政和 交流委員</p>	 ルームデザインハウス 鈴木 隆 交流委員
<p>滝澤常人 (株)長野コクヨ 交流委員</p>	<p>Shimako 株式会社 シマコー 専務取締役 田中義彦 TEL 0263-540454 FAX 0263-540450 交流委員・事業委員</p>	<p>玉井敏之 トライアン(株) 交流委員</p>	<p>RK日本ルーフ建材株式会社 長野営業所 所長 平澤信助 長野県伊那市西箕輪字新東原2700番地 TEL 0265-78-7299(代) 78-2258 FAX 0265-72-3290 交流委員</p>
<p>謹賀新年 本年もよろしくお願いします 中部電力長野支店 古川孝夫 交流委員</p>	<p>矢沢育宏 日本屋陶器瓦協業組合 交流委員</p>	 基開まして おめでとう ございます。 (屋根改修ガーランド法) 総合陶器瓦協業組合 宮下製陶 交流委員	<p>足利憲孝 会員委員</p>

迎春



会員委員・事業委員

HAL

HUMAN
ARCHITECTURE &
LANDSCAPE

荒井 洋

会員委員・事業委員

荒井 茂明

夢窓建築研究室

会員委員



大木島 清穂

会員委員

君島 弘章

会員委員・まちづくり特別委員

小菅 健

小菅建築設計事務所

会員委員

迎春

今年は「年男」です。

切磋琢磨しがんばるぞ！

小宮山 直樹

会員委員

斎藤 裕

建築研究室 夢香房

会員委員

謹賀新年 1999'

彰建築設計事務所
代表 竹花 彰男

会員委員

児野 登

(株)アキディアック環境計画研究所

会員委員

知己往来

西沢 利一

会員委員

細川 義雄

細川義雄建築設計事務所

会員委員

町田 憲一

(株)宮本忠長建築設計事務所

会員委員

萬羽 増雄

ばんば建築研究室

会員委員

御子柴 進

(株)建築研究所フォーラム

会員委員

宮澤 秀治

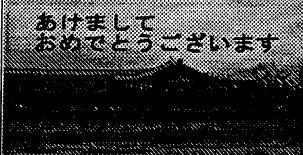
宮澤秀治建築空間研究所

会員委員

山住 博信

A・E・D 建築研究所

会員委員



伊藤 公毅

事業委員・まちづくり特別委員

荻原 白

(株)宮本忠長建築設計事務所

事業委員・広報委員

NATURALLY 1999

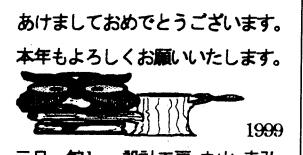
(有)斎藤建築デザイン室 斎藤 治

事業委員

(株)マルタ設計

篠田 博文

事業委員



元旦 館 kan 設計工房 丸山 幸弘

事業委員・まちづくり特別副委員長

大橋 得二

(株)イトーキ

事業委員

謹賀新年

ダイダン(株)
大月 公男

事業委員



吉神・凶神 今も!
小笠原光彦

広報委員副委員長

蟻・鎌・柄・鯱
頸・目地・栓

き・木・樹の年であります

環境プランニング 木下 光

広報委員

小林 隆茂

小林隆茂建築設計事務所

広報委員

あけまして
おめでとう
ございます

1999.1.1 篠田尚幸

1級建築士事務所

NAO 設計室

広報委員

武井 辰夫

(有)武井建築設計事務所

広報委員

池田 瑞夫

池田建築工房

まちづくり特別委員

吉川 一久

諏訪 n 設計企画

まちづくり特別委員

西沢 広智

(株)宮本忠長建築設計事務所

まちづくり特別委員

株式会社 国代耐火工業所



名古屋支店：愛知県瀬戸市上本町496 〒489-0061
TEL:0561-48-1171/FAX:0561-48-3220
営業本部TEL:03-5484-9246

内装工事・オフィス家具・改装工事・システムキッチン
株式会社



本社／松本市大字笛賀7600-2 TEL. 0263(58)0456(代表)
松本支店・岡谷支店・長野支店・上田営業所・東京支店・「カーテン工房アイル」

ダイダン株式会社

—光と空気と水を生かす—
顧客の信頼と満足を得る品質を提供します—

長野営業所

長野市南石堂町1282-11 長栄第一ビル5階

適材適床

タジマの結論も、適材適床。
建物別、部位別、機能別に、必要な床を提案します。



株式会社タジマ 長野営業所

ひと
人間にやさしい快適空間をめざして

立山アルミ

立山アルミニウム工業株式会社
長野支店：長野市大橋南2-1-1 TEL.026(284)9565
松本営業所：松本市島立846-1 TEL.0263(47)5663

アルミ建具・スチール建具・ステンレス建具
金属工事・營繕工事・改装工事・シャッター工事

株式会社日創建材

本社／〒381-2247 長野市青木島1-18-13 TEL026-283-1414(代) FAX026-286-4355

金属成型屋根 さいわいルーフ®

日本ルーフ建材株式会社

長野営業所 長野市伊那市大字西箕輪字新東原2700番地
〒399-4501 TEL 0265-78-7299
FAX 0265-72-3290

Creative & Artistic Engineering

創造的で審美的な技術を目指して

ヤマキ工業株式会社

本社・工場／長野県須坂市小河原3954-20(松川林間工業団地)
TEL : 026-248-1121(代) FAX : 026-251-2000

better to BEST

三協アルミ

△三協アルミニウム工業株式会社

長野支店：〒380-0803 長野市三輪1-1-26
TEL(026)244-1101(代) FAX(026)244-9723
松本営業所：〒399-0005 松本市野善木工1-2-5
TEL(0263)25-0440(代) FAX(0263)26-7829

本年もよろしくお願い申し上げます



炭平コーポレーション

S U M I H E I

本社／〒381-0025 長野市北長池1667 TEL(244)3751(代)

レベル調整機能付型枠ユニット

TSシステム型枠

竹村工業株式会社

下伊那郡松川町上片桐4604

TEL(0265)36-6111 FAX(0265)36-6555

■あなたのスペースづくりのお手伝いをする



立川ブラインド工業株式会社

本社：〒105 東京都港区海岸1-11-1 ニュービア竹芝ノースタワー TEL.03-5404-4500(大代表)

松本市芳川小屋935 TEL(0263)86-8750

松本営業所

地質調査・さく井工事・測量・地盤改良工事

(株)日建エンジニアリング

松本市両島7-16

TEL 0263 (26) 5540(代)

ます

新軽量耐震瓦「スカイハイ」

京セラ太陽光発電システム長野県販売代理店

日本屋陶器瓦 協業組合

理事長 松澤勝司

下伊那郡喬木村阿島1388-2

TEL 0265-33-2150(代) FAX33-3200

謹賀新年

株式会社 ニュースト

本社 長野市川中島町四ツ屋1,216 026(284)1121
支店・営業所 東京/長野/松本/甲府/名古屋/大阪/仙台/新潟/札幌



リリカラ

おかげさまで50周年

リリカラ株式会社

松本営業所：〒390-0827 長野県松本市出川2-16-2 Tel. 0263-28-8625

Fax. 0263-28-5999

クラブインサイド

第2回正副会長会

出澤 潔

11月2日、カミムラ建築研究室でいつもの通り開催しました。財政のチェック、後半期の事業の見通しなどが主な議題。幹事会で決定された建築家資格制度についての勉強会、文化講演会、総会記念講演会などについて相談しました。

第6回幹事会

沖村陽一

11月10日、松本市の(株)シマコーにて開催。会長挨拶に続き①建築家カタログ②あすなろ見学会③あすなろ巡回展等について各担当委員長より報告があった。次に、議事に入り①新入会員の報告②第42回建築士会全国大会長野大会への協賛③事業活動の取組み等の協議を行った。特に、忘年会、建築家資格制度研修会等への会員の積極的参加を呼びかけることとした。

(仮称)建築家カタログ作成部会 松下重雄

10月27日、南松本「総合福祉センター」にて「編集者」候補3社による「提案発表会」を行った。それぞれの特徴ある提案を熱意をもって発表していただいた。11月6日には「ルートイン松本インター」でいよいよ編集者を決定する部会を行ったが、出席者が少なく結論には至らなかった。12月10日再度部会を招集し決定予定。

第2回事業委員会

片倉 隆幸

11月20日、サンルート松本にて開催。来年3月の文化講演会を建築家の池原義郎氏か構造家の佐々木睦朗氏の基調講演に絞り込むことで一致。12月10日までに方向づけの予定。

第2回あすなる見学会 松下重雄

11月21日開催。岡谷の片倉隆幸会員の「矢島邸」、藤森照信氏の「神長官守矢史料館」、柳澤孝彦氏の「ひかり味噌本社屋」をじっくりと見せていただいた。18名とやや参加者が少なかったが対照的な作品に触発された。矢島さんのご好意、藤森氏のお父さんの名ガイド、柳澤氏のお口添えなどに感謝！

技術交流会・本音で語ろう会・忘年会

関 邦則

12月10日午後。長野市内の「レストランやま」にて開催。技術交流会では日本屋陶器瓦協業組合、長野ピーエス、土屋工業の各社からそれぞれの環境と省エネに関するシステムの紹介。今年の参加者は約45名。本音で語ろう会は、建築コストの現状や対社会性をテーマとして正会員・賛助会員が語り合った（詳細は別記事参照）。引き続き忘年会には50名が参加し、厳しい社会情勢にもかかわらず和やかな交流の時を過ごした。

クラブアウトサイド

第7回支部会員委員会 久保田三代

10月28日開催。本部より「建築家資格制度及びJIA建築家実務推奨基準案の検討集会」の開催依頼があり、11月17日緊急会員集会が開かれることになりました。「新会員の集い」は11月26日に開催。また、東京に地域会設立準備会が設立することになりました。

第5回支部役員会 高橋重徳

11月4日開催。「JIA広島大会は、支部より120名が参加し盛会となった」との報告があった。第2四半期の決算について会費納入状態が悪いなどの報告がされ、さらにアーキテクツ・ーデン'99について本年度までの反省を踏まえ、新しい方向性で対応すべく検討をしていくことになった。選挙管理委員の改選では須田氏が承認された。

'98すまいとまちづくりフェア 川上恵一

11月13~15日、県建築住宅センター主催『'98すまいとまちづくりフェア』が松本市総合体育館で開催。イベントは盛りだくさんであったが、出店67社、来場者約3,000人と例年の約半分。時節柄、健康や環境に配慮された生活提案が多く見受けられた。

支部デザインナーズカップ 久保田三代

支部デザイン部会の行事の一つ。地域会との交流を深めるゴルフコンペ・懇親会のお手伝いをしました。前日の見学会と懇親会には構端氏、当日は依田・久保氏が参加し、東京、群馬、茨木の方々と楽しく交流をしました。

支部保存問題委員会合宿 依田政司

11月14・15日、中軽井沢のKENSAN荘という別荘をお借りして保存問題委員会の理論合宿が行われました。松島副委員長の手料理を囲みながら和やかな中にも熱い討論が交されました。来年2月開催予定の「保存問題東京大会」のキャッチフレーズは、委員会設立以来10年間の活動を踏まえ「建築を残すということ」と結論づけました。多くの人の参加を期待します。

- 新入会員紹介 -

正会員

伊藤正明 伊藤構造計画工房（駒ヶ根市）



編集人 関邦則
発行人 出澤潔
発行所 JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科
426-1
長野県建築士会館内
TEL 026(232)3897
FAX 026(232)5303
作成 新建新聞社